

学習用カテキズム

The Study Catechism

トマス・ジョン・ヘイスティングス監訳

田中かおる・神代真砂実訳

問い 1 あなたの人生のための神の目的は何ですか。

答え 神は、わたしが主イエス・キリストの恵みによって、神の愛のために、聖霊との交わりのうちに、生きることを欲しておられます。

コリントの信徒への手紙二13：13

問い 2 あなたはどのようにして主イエス・キリストの恵みによって生きるのでしょうか。

答え わたしはもはやわたし自身のものではありません。わたしは代価を払って買い取られたのです。主イエス・キリストはわたしを愛し、わたしのためにご自身を献げられました。わたしは自分自身を完全に主イエスの配慮に委ね、主の驚くべきいつくしみに日々感謝を献げます。

コリントの信徒への手紙一6：19～20

ガラテヤの信徒への手紙2：20

詩編136：1

問い 3 あなたはどのようにして神の愛のために生きるのですか。

答え わたしが神を愛するのは、神がわたしをまず愛してくださったからです。神はキリストにおいて、決してほろびることのない愛をもってわたしを愛してくださいます。受けた恵みに驚かされ、わたしはもはや自分自身のために生きるのではなく、わたしのために死に、死に勝利して復活してくださった主のために、生きるのです。それゆえ、わたしは周囲にいる人々、ことに特別な問題をかかえている人々を心にかけます。キリストがわたしのために死んでくださったと同じように、そのような人々のためにも死んでくださったことを知っているからです。

ヨハネの手紙一4：19

コリントの信徒への手紙二5：15

ローマの信徒への手紙12：15～16

問い 4 あなたはどのようにして聖霊の交わりのうちに生きるのですか。

答え 聖霊によって、わたしは主イエス・キリストとひとつにされます。わたしは、信仰によって主を告白する者たちすべてとともに、キリストのからだである教会に結ばれるために洗礼を受けられました。この共同体の一員としてわたしは神の言に信頼し、聖餐（主の晩餐）をともにし、そして絶えず祈りにおいて神へと立ち帰ります。恵みと知恵において成長しながら、わたしは神がわたしの人生において意図しておられる善い業を行うようにされます。

コリントの信徒への手紙一12：27

ガラテヤの信徒への手紙3：27

コリントの信徒への手紙一6：17

ペトロの手紙二3：18

エフェソの信徒への手紙2：10

I 使徒信条

問い 5 キリスト者は何を信じるのですか。

答え 福音において約束されているすべてのことです。その要約が使徒信条にあります。使徒信条は、キリスト教信仰のおもな内容を言い表しています。

ヨハネによる福音書20：31

問い 6 使徒信条の第一項は何ですか。

答え 「我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず」です。

問い 7 あなたが『全能の父なる神』への信仰を告白するとき、何を信じますか。

答え 神は愛の神であって、そして神の愛は測ることができないほど力強いということです。

哀歌3：22

雅歌8：7

ヨハネの手紙一4：8

問い 8 神の愛と力をどのようにして理解しますか。

答え イエス・キリストを通してです。主イエスの憐れみに満ちた生涯、十字架の死、死からのよみがえりにおいて、世に対する神の愛がいかに偉大であるかがわかります。その神の愛、すなわちわたしたちのために苦しむ神の覚悟を意味する愛は、何ものにも勝る愛なのです。

ヨハネによる福音書3：16

ヘブライ人への手紙1：3

ヨハネの手紙一4：9

マタイによる福音書9：36

詩編106：8

問い 9 この真理からあなたが受け取る慰めは何ですか。

答え この偉大な愛の神こそが、人生のいかなる状況においてもわたしが信頼できる約束をしてくださったお方であり、また生においても死においてもわたしはこのお方のものであるということです。

詩編12：7

ローマの信徒への手紙8：38～39

問い 10 あなたは単に個人としてこの告白をするのですか。

答え いいえ。使徒たち、預言者たち、殉教者たちとともに、代々の主イエス・キリストを愛した人々とともに、そして今この地上で主に仕えることに労苦しているすべての人々とともに、わたしは愛に満ちた力ある神と力に満ちた愛なる神を告白します。

ヘブライ人への手紙12：1

ローマの信徒への手紙1：12

問い 11 使徒信条が「父なる神」という時、それは神が男性であるということの意味しているのですか。

答え いいえ。身体を持っている被造物だけが、男性であったり、女性であったりします。しかし、神は霊ですから身体を持ちません。聖書は、神がすべての性的区別を超えた生ける神であることを明らかにしています。聖書は、神について多様なたとえを用いていますが、それには男性にかかわるたとえだけでなく、女性にかかわるたとえもあります。たとえば、イザヤ書には女が乳飲み子を忘れることができないように、神は決してわたしたちをお忘れにならない（イザヤ49：15参照）と記されています。主は「母がその子を慰めるように、わたしはあなたたちを慰める」（イザヤ66：13）と言われます。

イザヤ書49：15

イザヤ書66：13

マタイによる福音書23：37

問い 12 なぜ使徒信条は「父なる神」と語るのですか。

答え 第一に、新約聖書が神をわたしたちの主イエス・キリストの父なる神としているからです。第二に、イエス・キリストはこの父の永遠の独り子だからです。第三に、わたしたちが信仰を通してキリストに結ばれる時、主イエスと父との喜ばしい関係に、わたしたちは養子（息子・娘）として迎えられます。

ローマの信徒への手紙1：7

ヨハネによる福音書14：9～10

ヨハネによる福音書1：12

ガラテヤの信徒への手紙4：6

問い 13 主イエス・キリストの父を神として告白するとき、あなたは男を女の上に置き、男性上位を支持することになるのですか。

答え いいえ。人間の力と権威は、威圧という乱用される形ではなく、ただ神のあわれみといつくしみとを反映している限りにおいて信頼することができます。主イエスが弟子たちに「あなたがたのうちでいちばん偉い人は仕えるものになりなさい」（マタイ23：11）と教えられた通りです。父なる神は、すべての力の用を明らかにして審く規準をお定めになります。「地上の者を『父』と呼んではならない。あなたがたの父は天の父おひとりだけだ」（マタイ23：9）と、主イエスは言われました。事実、神は女をも男をも教会のすべてのつとめに召されます。

ガラテヤの信徒への手紙3：28

エフェソの信徒への手紙5：21

問い 14 もし神の愛が計り知れない力であるなら、なぜこの世にこれほどの悪があるのですか。

答え だれも、その理由を説明することはできません。悪は、すべての合理的な説明をも超えている恐ろしい深淵だからです。その究極的起源は、はっきりしません。悪の途方もない大きさはわたしたちを悩ませます。それにもかかわらず、わたしたちは神は悪に対して確実に勝利される、と大胆に断言します。イエス・キリストにおいて、神はわたしたちのすべての悲しみを知り、わたしたちとともに苦しんでくださいます。主イエスを死からよみがえらせることにおいて、神は世界に対する新しい希望を与えてくださいます。十字架につけられ、よみがえったわたしたちの主イエス・キリスト御自身は、苦しみは終わり、もはや死ぬこともなく、すべてのものが新たにされる、という神の約束そのものなのです。

詩編23：4

ペトロの手紙一1：3

ペトロの手紙二3：13

ローマの信徒への手紙8：21

ヨブ記19：25

問い 15 あなたは、神が「天地の造り主」とであると告白するとき何を信じるのですか。

答え 第一に、神がみ言葉の力によって、天地とその中のすべてのものを無から呼び起こしたということです。第二に、神の永遠の目的に沿って、すべてのものが完全な知恵において維持され、支配されているということです。

ヨハネの黙示録4：11

創世記1：1

ヘブライ人への手紙11：3

問い 16 わたしたちが神のかたちに創造されたとは何を意味しますか。

答え 神は、愛と自由のうちに、わたしたちを神とともに、他者とともに、そして世界とともに生きるために造られました。わたしたちの独自の能力、すなわち、理性、想像力と意志などは、主としてその目的のために与えられています。少しでも神の善さをわたしたちの人生においても反映するために、隣人の愛する友となるように造られているのです。

創世記1：26

創世記1：27

問い 17 わたしたちが神のかたちに創造されたということは、神の本質にかかわる、どういう事柄を反映していますか。

答え わたしたちが神との関係や人との関係において、また神との関係や人との関係のために造られているということは、聖なる三位一体の神の反映です。唯一の神の秘義において、父、子、聖霊なる三つの聖なる位格が、完全な愛と自由のうちに、永遠にお互いにおいて、お互いとともに、お互いのために、生きておられます。

ルカによる福音書3：21～22

ヨハネによる福音書1：18

ヨハネによる福音書5：19

ヨハネによる福音書17：21～22

問い 18 神のかたちに創造されたということは、神の愛にかかわる、どういう事柄を反映していますか。

答え 神のために心を尽くして生きるようにと、わたしたちは創造されています。神をすべての良いものの源として崇めるとき、わたしたちは神から偉大な光の愛を反射する鏡のようなものです。わたしたちは、また他の人たちに対して愛を示し、神を崇めるために造られているのです。

詩編9：2

ヨハネの手紙一4：7

ヨハネの手紙一4：11

マタイによる福音書5：14～16

問い 19 神のかたちに造られた被造物として、地球に対してどんな責任がありますか。

答え 神は、わたしたちへの愛のこもった配慮を反映する形で、地球に配慮するように命じています。わたしたちは、地球の恵みを公平にそして賢く活用するように、そしてわたしたちに与えられたもののためどんな被造物も苦しむことがないように、また未来の世代が神への賛美をもって地球の豊かさや善さを楽しむことが続くように、保証する責任があります。

詩編24：1

詩編89：12

創世記2：15

創世記1：26

イザヤ書24：5

ローマの信徒への手紙12：2

問い 20 わたしたちが罪に陥り、神に背いたとき、神のかたちは失われましたか。

答えは「はい」と「いいえ」です。罪とは、他の人たちとわたしたちとのすべての関係が歪められ、混乱したことを意味します。わたしたちは、神・人間同士・他の被造物とともにいることを諦めていませんが、神・人間同士・他の被造物のためにいることを諦めてしまいました。そしてわたしたち人間独自の能力を失っていないにもかかわらず、特に神との関係においては、その能力を正しく活用することができなくなりました。神のみ心に反して、神との関係を破壊したことによって、わたしたちは常に自分自身へとねじ曲がる心を持つ者です。罪あるわたしたちは、罪の奴隷となって、自分を救う力もなく、そして仮に自由が残されていたとしても、その自由は罪の領域においてのみです。

ヨハネによる福音書8：34
ローマの信徒への手紙3：23
ローマの信徒への手紙3：10
ローマの信徒への手紙1：21
イザヤ書59：1～3

問い 21 イエス・キリストが「神のかたち」と言うのはどういう意味ですか。

答え わたしたちが神に背を向けているにもかかわらず、神はわたしたちを見捨てるのではなく、時が満ちてわたしたちの破壊された人間性を回復するためにイエス・キリストを送ってくださいました。主イエスは、ご自身を死に至るまでわたしたちのために完全に献げてくださり、完全に神のために生きられたのです。他の人のためにそれほどまでに完全に生きることにおいて、主イエスは、「神の完全なかたち」であるご自身を示してくださったのです。恵みによって、信仰を通して主イエスに似たものにされる時、わたしたちの人間性は失っていた神のかたちに従って新しくされます。

イザヤ書65：2
フィリピの信徒への手紙2：8
コロサイの信徒への手紙1：15
ローマの信徒への手紙8：29

問い 22 神の摂理をどう理解しますか。

答え 神は、世界を保護するだけでなく、同時に継続的に世界を知恵と慈しみをもって治め、維持し、配慮してくださいます。神はすべての被造物に対して関心があります。「ものみなが、あなたに目を注いでち望むと、あなたはときに応じて食べ物をくださいます。すべて命あるものに向かって御手を開き、望みを満足させてくださいます」(詩編145：15)。特に神は、悪から善をもたらすことによって世界を整えてくださるので、ついには、どのような悪も善に屈服するのです。たとえば、聖書の語るところによれば、ヨセフはその兄弟にこのように言ったのです。「あなたがたは、わたしに悪をたくらみましたが、神はそれを善に変え、多くの民の命を救うために今日のようにしてくださったのです」(創世50：20)。

ローマの信徒への手紙8：28
詩編103：19
詩編145：17

問い 23 神の摂理に信頼することによって、あなたはどのような慰めを受けますか。

答え わたしたちの主イエス・キリストの永遠の父なる神は、わたしの人生の日々、どこにいても、わたしを祝福し、導いて、守ってくださいます。神は、わたしが忠実であるときわたしを強め、落胆また悲しみにいるときわたしを慰めて、わたしが倒れたらわたしを引き上げて、そしてわたしを遂に永遠の命へ導いてくださいます。自分をすべて神の支配に委ねるとき、わたしは恵みによって、不幸の中で耐え、祝福の中で感謝し、不義に抗して勇敢になり、またわたしを苦しめるどんな悪も、神によってわたしの益となるように変えられると確信していただけるのです。

詩編146：9
イザヤ書58：11
イザヤ書41：10
コリントの信徒への手紙二1：3～5
詩編30：6

問い 24 苦しみや絶望と戦うとき、神の摂理への信仰は、どのような違いを生み出しますか。

答え 損害を受け、また不幸に苦しむとき、神の摂理への信仰によって、わたしは苦しみや絶望から守られています。神の摂理への信仰は、わたしが失望するとき、わたしの悲しみと痛みが、いま、

把握できないでいるはるかに偉大な目的や超越した力に包まれていることを思い起こします。悲嘆、恥、喪失においても、わたしは神へ向かって、癒しと慰めとわたしの必要を満たしてくださいることを待ち望んで、悲嘆の中で叫ぶことが許されています。

詩編42：12

コリントの信徒への手紙二4：8～10

詩編13：2～3

ヨブ記7：11

問い 25 神は、神であるためにこの世界を必要とされたのですか。

答え いいえ。もし被造物の一つでも造られなかったとしても、神は永遠に完全で無限に富んで、神であり続けられます。しかし、神なしでは、すべて被造物は直ちに存在しなくなります。被造物は、神抜きにして、発生も存続も成就も手にすることができません。しかしながら神は、ご自身で存在し、ご自身で満ち足りておられます。

使徒言行録17：24～25

ヨハネによる福音書1：16

ヨハネによる福音書5：26

エフェソの信徒への手紙1：22

問い 26 なぜ神は世界を創造されたのですか。

答え 神の世界を造る決断は、恵みの行為でした。この決断において、神はそれを祝福するために世界に生命を授けました。神は、ご自身の栄光を現し、神の三位一体の存在の核心にある愛と自由を分け合い、わたしたちに神との交わりにおいて永遠の命を与えるために世界を創造されました。

詩編19：2

コリントの信徒への手紙二3：17

詩編67：7～8

エフェソの信徒への手紙1：3～4

ヨハネによる福音書3：36

問い 27 あなたが「創造者なる神」を告白することは、近代科学の発見と矛盾しますか。

答え いいえ。「創造者なる神」の告白は次の三つの問いに答えています。a) 誰が？、b) どのように？、c) 何故？。この告白は、a) 自立している三位一体の神が、b) 神のみ言葉の創造的な力をもって世界を無から呼び起こして、c) 愛と自由を分かち合うために、ということを主張しています。自然科学は、自然のメカニズムや過程についてわたしたちに多く教えることがありますが、しかし究極的 現実にかかわるこれらの問いに答える立場にはないのです。自然科学は、これらの問いが指し示している神秘を探究するためのものではないからです。キリスト教信仰の基礎と関わっているものは自然科学の発見と矛盾していませんし、自然科学の基礎と関わっているものはキリスト教信仰と矛盾していません。

ヨハネによる福音書1：1～3

問い 28 使徒信条の第二項は何ですか。

答え 「我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん」です。

問い 29 あなたが「神の独り子」なるイエス・キリストへの信仰を告白するとき、あなたは何を信じているのですか。

答え イエス・キリストは、唯一無比の業をなすために遣わされた唯一無比の人であることを信じます。

ルカによる福音書3：21～22

ルカによる福音書12：49～50

ヨハネによる福音書1：14

問い 30 イエス・キリストが唯一無比であるというのは、どういうことですか。

答え イエス・キリスト以外に、誰一人として受肉した神になることはありません。イエス・キリスト以外に、誰一人として世の罪のために死ぬことはありません。ただイエス・キリストだけがそのような人であり、ただイエス・キリストだけがそのような業をなすことができ、そして事実イエス・キリストがそのことを成し遂げてくださったのです。

イザヤ書53：5

ヨハネによる福音書1：29

コロサイの信徒への手紙1：15～20

問い 31 あなたが「我らの主」なるイエス・キリストへの信仰を告白するとき、何を言い表すことになるのですか。

答え 神によって死からよみがえらせられたことで、主は憐れみと正義をもって天地におけるすべてのもの、特に信仰によって主を告白する者を、支配しておられます。そしてわたしが、他のすべてのものより主を愛し、主に仕えることによって神に栄光と誉を帰します。これらのことを言い表すのです。

コリントの信徒への手紙一15：3～4

ヨハネの黙示録11：15

エフェソの信徒への手紙1：19～23

フィリピの信徒への手紙2：9～11

問い 32 あなたが「主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ」た、ということを用いる時、何を言い表すのですか。

答え 三つのことがあります。まず、女性から生まれたことにおいて、イエスは真に人間であられたのです。次に、わたしたちの主の受肉は、どんな人間の可能性をも超越した神の自由な恵みのみによってもたらされた聖なる、秘義的な出来事であったのです。最後に、その地上での生涯の最初の時点から、主は唯一無比の仕方でも生まれることによって、わたしたちの救いを成し遂げるために聖別されていたのです。

ルカによる福音書1：31

ルカによる福音書1：35

ヘブライ人への手紙2：14

フィリピの信徒への手紙2：5～7

問い 33 主イエスは真に神であると言い表す意味は何ですか。

答え ただ神のみが、礼拝を受けるにふさわしいお方であられます。神のみがわたしたちに、神は誰であるかを啓示することができます。そして神のみがわたしたちをわたしたちの罪から救うことができます。真の神であることにおいて、主イエスはこれらの条件を満たしています。主イエスはわたしたちの礼拝の正しい対象であり、神の自己啓示と世の救い主であられます。

ヨハネによる福音書20：28

マタイによる福音書11：27

ヨハネの手紙一4：14

問い 34 主イエスは同時に真の人である、と言い表す意味は何ですか。

答え 真の人であることにおいて、主イエスはわたしたちの墮落した状態の中に完全に入ってこられ、そしてその内側からその墮落した状態に打ち勝ってくださいました。主イエスの完全な従順によ

って、残酷な死を受容するところに至るまで、主イエスは神との裂け目のない一致の生涯を送りました。恵みに逆らう罪人としてわたしたちは、この主イエスの生涯とまったく同じようには送り得ないのです。信仰によって主イエスを受け入れるとき、主イエスはわたしたちの不従順を取り除き、ご自身の完全な義をわたしたちにまとわせてくださいます。

ヘブライ人への手紙2：17～18

ヘブライ人への手紙4：15

ヘブライ人への手紙5：8～9

ローマの信徒への手紙5：19

問い 35 どのようにして主イエスは真の神にして、同時に真の人であり得ますか。

答え イエス・キリストの神性と人性の一致という秘義はわたしたちの理解を超えています。ただ聖霊から与えられた信仰によってのみ、わたしたちはその秘義を肯定できるのです。聖書は主イエスを神の力、資格、そして権威を持つ者として描く時、主の人性を前提としています。また、聖書は主イエスを人間の弱さ、必要性や有限性を持つ者として描くとき、主の神性を前提としています。わたしたちは、どのようにしてこのことがあり得るかを理解できません。しかしわたしたちは、天地を造られた神が、この素晴らしくて畏れを抱かせる方法において、受肉した神となり、そのようにしてわたしたちとともにいます神になることのできる自由を持っておられるということに信頼することができます。

マルコによる福音書1：27

マルコによる福音書4：41

マタイによる福音書28：18

ルカによる福音書22：44

ヨブ記5：9

問い 36 神は、主イエスの到来の道を準備するために、どのようにイスラエルの民を用いましたか。

答え 神は、ご自身がイスラエルの光と救いとなること、イスラエルは神の民となること、そしてイスラエルを通して地のすべての民が祝福されること、これらのことを約束する契約を結んでくださいました。従って、しばしばイスラエルが神に背を向けていたにもかかわらず、神はなおイスラエルを守り続けて、そしてイスラエルのために働いてくださいました。特に、神はイスラエルに預言者たち、祭司たち、それから王たちを送ってくださいました。それぞれは、神の霊によって「油注がれて」いたのです。預言者は神の言を告げるため、祭司たちは民の罪のための犠牲を献げるため、そして王たちは、神を畏れて、貧しく虐げられている者を支え、民を彼らの敵から守るよう義をもって支配するためでした。

創世記17：3～4

創世記12：1～4

出エジプト記6：4～5

ガラテヤの信徒への手紙3：14

エレミヤ書30：22

ペトロの手紙一2：9～10

ゼカリヤ書1：6

レビ記5：6

詩編72：1

詩編72：4

問い 37 イスラエルとの契約は永遠の契約でしたか。

答え はい。主イエスの到来を通して、イスラエルとの契約は広げられ確かなものにされました。主イエスを信じることによって、異邦人は契約の中へと迎えられました。このように門戸が開かれて、神の祝福がイスラエルを通してすべての民にもたらされることが確認されました。イスラエルの

民の多くは、イエスをメシヤとして受け入れなかったにもかかわらず、神はイスラエルを見捨てていません。神は今なおイスラエルを愛し、そして神はイスラエルの希望であります。「神の賜物と招きとは取り消されないものなのです」(ローマ11：29)。信仰のない異邦人にさえ手を差し伸べた神は、永遠の契約の民としてのイスラエルに恵みを示さずにいられません。

イザヤ書61：8

エレミヤ書31：3

サムエル記下23：5

ローマの信徒への手紙11：29

問い 38 なぜ、「油注がれた者」を意味する「キリスト」という称号が、イエスに用いられたのですか。

答え イエス・キリストは、決定的な預言者、祭司、王でありました。イスラエルにおいて、主の油注がれた者たちすべてが、イエスを先取りして、ついにイエスにたどり着いたのです。これらの職能を引き受けることにおいて、イエスはそれらの職能の変容だけではなくて、イスラエルの選びの目的を世のために達成してくださいました。

コリントの信徒への手紙二1：20

使徒言行録10：37～38

ルカによる福音書4：16～19

問い 39 イエス・キリストはどのようにして預言者の職能を成就されましたか。

答え 主イエスは、死と罪の世に対する神のみ言でした。主イエスは、ご自身の告知した愛を体現してくださいました。主の生と死と復活は、わたしたちがどれほど「否」と言っても、なお語り続けられる偉大な「然り」となりました。わたしたちがこのみ言を信仰によって受け取るとき、キリストが永遠にわたしたちのうちに住み、またキリストのうちにわたしたちが住むために、キリストご自身がわたしたちの心に入ってきてくださいます。

使徒言行録3：20

使徒言行録3：22

ヨハネによる福音書1：18

エフェソの信徒への手紙3：17～18

問い 40 イエス・キリストはどのようにして祭司の職能を成就されましたか。

答え 主イエスは、「世の罪を取り除く神の小羊」であって、同時に、わたしたちの祭司となり、犠牲となりました。わたしたちの罪や死における絶望に立ち向かわれて、キリストはわたしたちを神に和解させるために、ご自分——その人格と業すべて——を献げることを通して執り成してくださいました。

ヘブライ人への手紙4：14

ヨハネによる福音書1：29

ヘブライ人への手紙2：17

エフェソの信徒への手紙1：7

問い 41 イエス・キリストはどのようにして王の職能を成就されましたか。

答え 主イエスは、僕の身分になった主であって、弱さにおいて王の力を完成されました。義の剣以外に剣を持たず、愛の力以外に力を持たずに、十字架から治めることによってキリストは、罪、悪と死に勝利してくださいました。

ヨハネによる福音書19：19

フィリピの信徒への手紙2：5～8

コリントの信徒への手紙一1：25

ヨハネによる福音書12：32

問い 42 あなたが、主が「ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け」と信仰告白するとき、何を認めていますか。

答え 第一に、わたしたちの主が、当時の宗教的・政治的両方の権威に侮辱され、拒絶され、不当に扱われたということです。従ってキリストは、この世の力によって、抑圧され、拷問を受け、その他不当に扱われているすべての人々と同列にご自身を置いてくださったのです。次に、そしてもっと大切なことは、無罪であるにもかかわらずわたしたちの主は、わたしたちが、天の審判者のみ前に無罪にされるために、自ら地上の審判者の審きに服してくださいました。

ルカによる福音書18：32

イザヤ書53：3

詩編9：10

ルカによる福音書1：52

コリントの信徒への手紙二5：21

テモテへの手紙二4：8

問い 43 あなたが、主は「十字架につけられ、死にて葬られ」と信仰告白するとき、何を認めていますか。

答え わたしたちの主が人間としてまことの死の扉を通り抜けられた時、主は神にわたしたちを和解させるため、主に知られていない悲しみ、主に担われていない悲嘆、主に払われていない代価はないと、わたしたちに示してくださいました、ということです。

マタイによる福音書26：38～39

イザヤ書53：5

ガラテヤの信徒への手紙3：13

ヘブライ人への手紙2：9

コリントの信徒への手紙二5：19

問い 44 あなたが、主は「陰府にくだり」と告白するとき、何を認めていますか。

答え わたしたちの主は、わたしたちが審きを免れるため、わたしたちの罪のすべての結果を、神に見捨てられた苦悩さえも、ご自身に背負ってくださいました。

マルコによる福音書15：34

ヘブライ人への手紙9：26

ローマの信徒への手紙4：23～25

問い 45 なぜ主イエスはそのように苦しまなければならなかったのですか。

答え なぜなら、恵みはわたしたちの思いをはるかに超え、そして罪ははるかに深刻であるからです。わたしたちがお互いをどんなに残酷に扱っていたとしても、罪のすべては結局 神に逆らうということなのです。神は罪を審かれます、しかし決して恵みなしには審かないのです。わたしたちのためにイエス・キリストを死に渡されたことにおいて、神は、ただ一度、罪を取り除くために、ご自身にわたしたちの罪の重荷を負ってくださいました。十字架とそれに現されている悲惨のすべては、神の愛の苦しみによって罪の深淵が飲み込まれていることを示しています。

ローマの信徒への手紙8：1

ローマの信徒への手紙8：3～4

コリントの信徒への手紙一1：18

ローマの信徒への手紙5：8

コロサイの信徒への手紙1：19～20

ヤコブの手紙2：13

問い 46 あなたが、主は「三日目に死人のうちよりよみがへ」ったと告白する時、何を認めていますか。

答え わたしたちの主は死の力に支配されたままでおられることはありえなかったということです。主

は十字架で死んだ後、墓から勝利して、新しい栄光の命のうちに、弟子たちに現れてくださいました。弟子たちにご自分の手と足を見せることによって、十字架につけられたお方は、世界の主であり、救い主であることを彼らに啓示してくださいました。

使徒言行録2：24

コリントの信徒への手紙一15：3～4

ルカによる福音書24：36～40

ヨハネによる福音書20：15～18

コリントの信徒への手紙一15：5～8

ヨハネによる福音書20：27

問い 47 あなたが、主は「天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり」と告白する時、何を認めていますか。

答え 第一に、父のみもとに行かれたことでキリストは、「信仰の目」以外には隠されたお方になった、ということ。第二に、キリストは遠い過去、あるいは届かない場所に、わたしたちから切り離されておられるのではなく、むしろ恵みを通して今ここにわたしたちとともにおられる、ということです。栄光のうちに再び来られる時まで、キリストは神の権威をもって支配し、わたしたちを守り導き、執り成してくださいます。

使徒言行録1：6～11

コロサイの信徒への手紙3：1

問い 48 「かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん」という言葉をあなたはどう理解しますか。

答え 他のすべての人と同じように、わたしも恐れおののいて、キリストの審きの座の前に立たねばなりません。しかしこの審き主は、わたしのために審きに服従してくださったお方です。どんなものも、わたしの主イエス・キリストにおける神の愛からわたしを引き離すことはできません。わたしを辱める罪によるすべての過ちは火によって滅び、わたしが行ったかもしれない善い行いすべてが、神に喜びを持って受け入れられるようになるでしょう。

コリントの信徒への手紙二5：10

コヘレトの言葉12：14

使徒言行録17：31

ローマの信徒への手紙8：38～39

ヨハネの手紙一4：17

コリントの信徒への手紙一3：12～15

使徒言行録10：42

問い 49 すべての人が救われるでしょうか。

答え 救われる者ならば、一人も滅びません。救いの範囲は、何であるにしても、神のみが知っておられるのです。少なくとも、次の三つの真理は確かです。神は、試されてはならぬ聖なる神であります。「恵みのみ」による以外に誰一人救われません。そしてどんな審判者であっても、わたしたちの主、また救い主であられるイエス・キリストよりも恵み深い者はいないのです。

ヘブライ人への手紙10：31

ローマの信徒への手紙11：32

マタイによる福音書18：12～14

エフェソの信徒への手紙2：8

テモテへの手紙一2：3～4

ヨハネによる福音書3：17～18

エゼキエル書18：32

コリントの信徒への手紙二5：14～15

問い 50 キリスト教は唯一の真の宗教ですか。

答え 宗教は複雑な事柄です。宗教が自己正当化、戦争挑発、また偏見を促進する手段として用いられるならば、それは罪の一つの形です。あまりにもしばしばすべての宗教、とりわけキリスト教は、そのように歪められてきました。しかしながら、恵みによって、すべての不従順にもかかわらず、キリスト教は福音の真理を差し出しています。他の宗教は、様々な真理を秘めているかも知れませんが、世界の希望としてのイエス・キリストの名前を認めていないし、認めることができません。

マタイによる福音書7：3

ヤコブの手紙1：26

ヤコブの手紙1：27

使徒言行録4：12

ヨハネによる福音書14：6

ローマの信徒への手紙1：16

コリントの信徒への手紙二4：7

問い 51 神は、他の宗教の信者をどのように扱われますか。

答え 神は、十字架につけられ、復活されたイエス・キリストを通して、すべての人々に救いを開いてくださいました。神が、キリストを知らない、またキリストに従わないで、他の伝統に従う者をどのようにして扱うかわたしたちは最終的には言えません。しかしながら、わたしたちが言えるのは、神は恵み深く、憐れみ深いお方であって、そしてわたしたちが見ている世の救い主として来られたイエス・キリストに示された以外の方法では、神は人々を扱いません。

ヨハネの黙示録7：9

詩編103：8

ヨハネによる福音書3：19

テトスへの手紙2：11

問い 52 わたしは、キリスト者でない人々や他の宗教の信者とどのように関わるべきですか。

答え できる限り、友情には友情を、敵意には親切を、寛容には感謝を、迫害には忍耐を、真理には同意を、過ちには真実を持って応えるべきです。わたしは、自分の信仰を機会に応じて、密やかな形あるいは開かれた形で、大胆にあるいは柔和に、言葉によってあるいは行いによって、謙遜と信仰心を持って表現すべきです。わたしは、一方で真理を妥協しないように、もう一方で狭い心にならないようにすべきです。要するに、わたしが主に迎えられ、受け入れられていることを尊重し、反映するような仕方で、この人たちを歓迎し、受け入れるべきです。

ローマの信徒への手紙15：7

ルカによる福音書6：37

マタイによる福音書5：44

エフェソの信徒への手紙4：25

使徒言行録13：47

ローマの信徒への手紙12：21

ローマの信徒への手紙13：10

問い 53 使徒信条の第三項は何ですか。

答え 「我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、身体のみがへり、永遠の生を信ず。アーメン」です。

問い 54 あなたは、聖霊への信仰を告白するとき、何を信じているのですか。

答え 聖霊による以外に、わたしたちの主が、愛され、知られ、仕えられることはありません。聖霊は、わたしたちをイエス・キリストご自身に結びつけてくださる人格的な絆であり、わたしたちの心をキリストへ開いてくださる教師であり、そしてわたしたちを悔い改めへと導き、キリストの支配下に生かす力を与える慰め主であります。唯一の聖霊の御業として、わたしたちの愛、知識そしてキリストへの奉仕は、分けられることなく関係しているのです。

ヨハネによる福音書14：26

コリントの信徒への手紙一12：3

ローマの信徒への手紙5：5

コリントの信徒への手紙一6：17

コリントの信徒への手紙一6：19

コリントの信徒への手紙一3：16

ヨハネによる福音書4：24

問い 55 わたしたちはどのように、聖霊を受けるのですか。

答え 神のみ言を受けることによってです。新しい創造の助産婦として、聖霊はみ言を持って来られ、わたしたちを再生へもたらし、そして永遠の生命を保証してくださいます。聖霊は、わたしたちを養育し、正し、み言の「混じりけのない霊の乳」を持って強めてくださいます（ペトロ一2：2）。

エフェソの信徒への手紙6：17

ヨハネによる福音書14：16～17

ヨハネによる福音書3：5～6

ルカによる福音書11：13

テサロニケの信徒への手紙一1：5

ヨハネによる福音書16：8

ローマの信徒への手紙8：15～16

ペトロの手紙一2：2

問い 56 「神のみ言」という時、何を意味していますか。

答え 「生においても、死においても、わたしたちのために聖書で証言されているイエス・キリストは、わたしたちが聞くべき、そして信頼し従うべき唯一の神のみ言であります」（バルメン宣言、第一条）。

ヨハネによる福音書1：1～5

ヨハネによる福音書1：14

問い 57 聖書もまた神のみ言ではないでしょうか。

答え その通りです。その内容、機能、起源の故に聖書もまた神のみ言です。その内容の中心は生けるみ言であるイエス・キリストです。聖書の基本的機能は、わたしたちの救い主、また主であるイエス・キリストへのわたしたちの愛、知識、そして奉仕を深めることです。そして聖書の究極的な起源は、預言者たちや使徒たちを通して、聖書にある真理へのわたしたちの熱心な求めを起こしてくださっている聖霊にあります。

テモテへの手紙二3：16

ヨハネによる福音書5：39

問い 58 説教もまた、神のみ言ではないでしょうか。

答え その通りです。説教や他のキリスト者の証言は、聖書の証言に忠実である限りにおいて神のみ言です。聖霊の力によって、説教自体が告知している事柄そのものを与えてくれます。それはわたしたちの主イエス・キリストの現臨です。忠実な告知として、神のみ言を聞くことによってわたしたちに信仰が生じます。

マルコによる福音書16：15

コリントの信徒への手紙24：5

ローマの信徒への手紙1：15～16

ローマの信徒への手紙10：17

問い 59 聖霊は、書かれた形、また告知された形以外に神のみ言を離れて語りますか。

答え み言なしでは、聖霊は教会に与えられませんから、正しい告知は聖書に基づいています。み言は聖霊なしでは示されませんから、正しい解釈は祈りに基づいています。しかしながら、風が思いのままに吹くように、聖霊もまた人々の人生において、み言を矛盾させず、薄めず、しかもみ言に沿って、予測できない方法で、あるいは間接的な方法で語り、また働いてくださることがあります。

ヨハネによる福音書3：8

使徒言行録8：29～31

エフェソの信徒への手紙6：18

ペトロの手紙二1：20～21

イザヤ書45：4

民数記22：28

問い 60 信仰のない人たちは、時には信者よりも賢いのではないのでしょうか。

答え その通りです。教会にとって大事な問いは、その洞察がどこから来るかということよりも、その洞察を見分ける規準です。真理は、教会の内であっても外であっても、また自分の一番大事にしている意見に合っても合わなくても、あるところにあるのです。しかし、わたしたちが忠実に真理を見極めるのは、最終的には聖書に伝えられている神のみ言によるのです。従って、教会は絶えず神のみ言によって、改革し、常に改革されています。

テトスへの手紙1：9

問い 61 近代の批評的研究は、聖書が神のみ言の一形態であるというあなたの信仰を揺がすのではないですか。

答え いいえ。近代の批評的研究は良い僕でありながら、悪い主人なのです。批評的研究は、無批判に、受け入れるべきでも、退けるべきでもありません。正しく利用されるなら、批評的研究はわたしたちが正しくそして豊かに聖書を解釈するのを助けますが、誤って利用されるなら、批評的研究は信仰の位置を奪うか、あるいは違った信仰を確立してしまいます。賢い解釈者は、この方法論を忠実な証言と理解のために使います。近代の批評的研究は便利な道具であり続けるのですが、聖書は信仰と実践のすべての基本的な事柄において信頼できるものであり続けるのです。

箴言1：5～6

箴言10：14

コリントの信徒への手紙一1：20

コリントの信徒への手紙一1：25

問い 62 あなたは「聖なる公同の教会」という時、何を認めていますか。

答え 教会は、主がご自身を献げたように、自分の人生をイエス・キリストに献げた忠実な民の群れです。その民からキリストを切り離すことはできませんから、主が聖である故に教会は聖であり、また主が普遍的な意義をもっておられる故に、教会も普遍的な（公同なる）意義をもっています。現在地上の教会に残っている不完全さにもかかわらず、よりよく聖となり公同となるように教会は召されています。それは、教会が既にキリストにあってそうであるからです。

ガラテヤの信徒への手紙2：20

コリントの信徒への手紙一1：2

レビ記11：44

ペトロの手紙一1：15～16

問い 63 教会の使命は何ですか。

答え 教会の使命は、イエス・キリストにあって、神の世界に対する愛を証しすることです。
使徒言行録1：8
ヨハネによる福音書15：26～27
エフェソの信徒への手紙3：8～10

問い 64 その使命はどのような形を取りますか。

答え その形は、神の愛の形のように様々ですが、その中心はいつもイエス・キリストです。教会は、究極的にキリストを指し示す仕方です。困っている人に憐れみと赦しを差し延べる時、その使命に忠実なのです。なぜなら、最終的にはキリストの憐れみによって、困っている人の必要が満たされるからです。
ルカによる福音書10：37
エフェソの信徒への手紙4：32
申命記15：11
使徒言行録4：34～35

問い 65 困っている人とは誰ですか。

答え 飢えている人にはパン、家のない人々には住まい、圧迫されている人には正義、孤独な人には交わりが必要です。同時に、他のもっと深い次元において、絶望している者は希望、罪人は赦し、世界は福音を必要としています。この次元においては誰も締め出されることはなく、またすべての困っている人は一つです。教会としてのわたしたちの使命は、神の永遠の愛を宣言することによって、絶望している世界へ希望をもたらすことです。それはちょうど、一人の物乞いがもう一人に、パンはどこで見つかるかを伝えるようなものです。
詩編10：12
マタイによる福音書25：37～40
エレミヤ書9：23
コリントの信徒への手紙一9：16
エフェソの信徒への手紙6：19

問い 66 あなたが「聖徒の交はり」という時、何を認めていますか。

答え 地上においても、神とともに天においても、キリストと結ばれて生きているすべての者が、聖徒です。わたしたちのキリストとの交わりは、わたしたちお互いを体の部分として組み合わせているのです。その死によってわたしたちの神からの離脱を取り除いたように、キリストは、聖霊によってわたしたちの間に分裂をもたらすすべてのものを取り除いてくださいます。すべての敵意という隔ての壁を壊し、キリストは数多くのわたしたちをご自身において一つの体としてくださいます。キリストにおいて結ばれている絆は、他のどんな人間関係よりも深いのです。
エフェソの信徒への手紙2：19～20
ローマの信徒への手紙12：5
エフェソの信徒への手紙2：14
コリントの信徒への手紙一12：27
ガラテヤの信徒への手紙3：28
エフェソの信徒への手紙4：4
コリントの信徒への手紙一12：4～7
コリントの信徒への手紙一12：12～13

問い 67 あなたは、どのようにしてキリストと、またお互いとの交わりに入ることができますか。

答え み言と聖礼典を通して働く聖霊の力によってです。聖霊は、み言と聖礼典をわたしたちの救いのために用いるので、み言と聖礼典は「恵みの手段」と呼ばれます。聖書は、わたしたちの主イエス・キリストによって制定された二つの聖礼典、すなわち洗礼と聖餐（主の晩餐）を認めています。

コリントの信徒への手紙一10：17

コリントの信徒への手紙一12：13

コロサイの信徒への手紙3：16

問い 68 聖礼典とは何ですか。

答え 聖礼典とは、キリストによって制定された、キリスト教礼拝の特別な行為です。それは、罪の赦しと永遠の命のための福音の約束を宣言するために用いる目に見えるしるしです。聖礼典のしるしは、恵みによってこの信じる者たちへの約束を証印し、そして聖礼典で告げ知らされている約束を信じる者たちにその約束をもたらします。洗礼におけるしるしは水で、聖餐（主の晩餐）におけるしるしはパンとぶどう酒です。

マルコによる福音書1：9～11

マルコによる福音書14：22～25

問い 69 あなたは、約束の言葉と聖礼典のしるしの関係をどのように理解しますか。

答え 約束の言葉を取り除くと、水は単なる水に過ぎず、またパンとぶどう酒は単なるパンとぶどう酒に過ぎません。しかし、約束の言葉に水、パンそしてぶどう酒を加えると、それは目に見える言葉になるのです。この形において目に見える言葉は、言葉が常に恵みによって行うことを行います。つまり、約束されている救いをもたらす、そして信仰に応じて、わたしたちの主イエス・キリストの現臨が伝えられます。聖礼典は目に見える言葉であって、たとえわたしがどれほど多くの罪を犯しても、キリストはわたしのためにも死んでくださり、そしてわたしの中にまたわたしとともにいてくださるということを独自の仕方でも保証し、また確信させます。

ルカによる福音書24：30～31

コリントの信徒への手紙一10：16

マタイによる福音書28：20

コロサイの信徒への手紙1：27

問い 70 洗礼と聖餐（主の晩餐）の主な違いは何ですか。

答え わたしは一度だけ洗礼を受けますが聖餐には繰り返して与ります。繰り返さない洗礼は、キリストがわたしたちの罪のために一度にして、またすべての人のために死んでくださったばかりでなく、一度限りの仕方でもわたしたちが恵みによって信仰を通してキリストに結ばれたことを示しています。繰り返せる聖餐は、わたしたちが満たされないままで主に繰り返し立ち帰る時、わたしたちの主が絶えず、聖霊の力においてわたしたちの信仰を改め、深めてくださることを示しています。

使徒言行録2：41

ヨハネによる福音書6：33

ヨハネによる福音書6：51

ヨハネによる福音書6：56

コリントの信徒への手紙一11：26

問い 71 洗礼とは何ですか。

答え 洗礼は、それを通してわたしたちがキリストに結ばれているしるし、また証印です。

ローマの信徒への手紙6：3～4

ガラテヤの信徒への手紙3：27

ローマの信徒への手紙4：11

問 72 洗礼を受けるということは、何を意味していますか。

答 洗礼は、イエス・キリストと永遠に結ばれていることを意味します。わたしは、信仰によりキリストを受け入れたすべての人々とともに、キリストの死と復活へと洗礼を授けられています。わたしは水で洗礼を授けられたように、キリストはわたしのすべての罪を洗い流し、わたしをその罪の支配から自由にしてくださり、ご自身の霊においてわたしに洗礼を授けてくださいます。洗礼は、いつの日か、栄光においてキリストとともに復活するしるしであって、そして今でさえもキリストとともに新しい生において歩むことができることを意味します。

コロサイの信徒への手紙2：12

マルコによる福音書1：8

コリントの信徒への手紙一6：11

エフェソの信徒への手紙4：4～6

問 73 幼児（乳幼児）にも洗礼が授けられるべきですか。

答 はい。信じている両親とともに、子どもたちは、福音の大いなる希望のうちに含まれ、神の民に属します。キリストのご自分の民との契約を通して、赦しと信仰の両方が、子どもたちにも賜物として約束されています。この子どもたちは、洗礼によって共同体に受け入れられ、み言において育成され、そして適切な時に自分自身の信仰告白をするはずで

創世記17：7

使徒言行録2：38～39

使徒言行録16：15

使徒言行録16：33

使徒言行録18：8

問 74 両親また保護者が教会と無関係である場合、その幼児に洗礼をさずけるべきですか。

答 いいえ。少なくとも片方の親が保護者がキリスト者で、その子どもを共同体の生活やキリスト教信仰において育成することを約束するのでなければ、洗礼を授けることは無責任なことになります。

エフェソの信徒への手紙6：4

テモテへの手紙二1：5

コリントの信徒への手紙一7：14

問 75 あなたはどの名前によって洗礼を授けられますか。

答 三位一体の神の御名によってです。わたしたちの主は死からよみがえられた後、弟子たちに現れ、こうおっしゃいました、「あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって、洗礼を授け」なさい（マタイ28：19）。

マタイによる福音書28：16～20

マタイによる福音書3：16～17

ペトロの手紙一1：2

コリントの信徒への手紙一12：4～6

問 76 この名の意味は何ですか。

答 それは聖なる三位一体の名です。父は神、子は神、また聖霊は神です。しかし、父、子、聖霊は三つの神ではなくて、三つの位格で、ひとりの神です。わたしたちは、この秘義において神を礼拝するのです。

コリントの信徒への手紙二13：13

ヨハネによる福音書1：1～4

ローマの信徒への手紙8：11

ヨハネによる福音書16：13～15

問い 77 聖餐（主の晩餐）とは何ですか。

答え 聖餐は、それによってわたしたちのキリストとの交わりが新しくされるしるしと証印です。
コリントの信徒への手紙一10：16

問い 78 聖餐（主の晩餐）を分かち合うことにはどのような意味がありますか。

答え 聖餐を祝う時、主イエス・キリストは、その聖霊をわたしたちに注ぎ出してくださりながら、真に現臨されるのです。主の聖霊によって、教会が裂くパン、また教会が祝福する杯は、主ご自身の体と血に参与します。主はかつてご自身の体と血を通してわたしたちの命を神に献げてくださいました。そして今、主はパンと杯を通してご自分の命をわたしたちに与えてくださいます。キリストはわたしのためにさえ死んでくださったことを覚えながら、わたしがパンと杯に与る時、信仰によって感謝を持って心のうちに主を味わい、そして永遠に主の命がわたしのものになり、またわたしの命が主のものになって、主のよみがえりの命に入れられます。

コリントの信徒への手紙一11：23～26

マルコによる福音書14：22～25

問い 79 誰が聖餐（主の晩餐）に与ることができますか。

答え 罪を告白し、信仰を持って主に近づいて新しい生活を志し、このような大きな恵みを喜んでいるすべての洗礼を受けた者です。これは、自ら与りたいことを言い表し、そして理解できる形で聖礼典の意味について教えられたところの洗礼を受けた子どもたちのことを含みます。

ルカによる福音書13：29

コリントの信徒への手紙一11：28

フィリピの信徒への手紙4：4

問い 80 あなたは「罪の赦し」という時、何を意味しているのですか。

答え イエス・キリストの故に、神がもはやわたしの罪を咎められることはないということです。キリストのみがわたしの義、わたしの命またわたしの唯一の希望です。キリストにある神のわたしへの赦しの根拠は、わたしの功績ではなく、恵みのみです。わたしの行いではなく、ただ信仰をとおしてのみ、わたしがキリストを心のうちに受け入れ、そしてキリストによってわたしを癒すところの赦しを受けることができます。キリストのみ、恵みのみ、また信仰のみが、福音を通してわたしが受け取る場所の赦しをもたらします。

コリントの信徒への手紙一1：30

テモテへの手紙一1：1

ローマの信徒への手紙11：6

エフェソの信徒への手紙2：8

ローマの信徒への手紙5：15

ローマの信徒への手紙4：16

ローマの信徒への手紙3：28

問い 81 赦しは神が罪を大目に見ることを意味しますか。

答え いいえ。神が神でなくなるわけではありません。神は憐れみ深いのですが、神が赦す事柄そのものを大目に見るわけではありません。キリストの死と復活において、神は神が憎むもの、つまり愛に反するすべてのものをその根源から捨て去ることによって、審いてくださいます。この審きにおいて、思いがけないことが起こります。つまり悪から善が、絶望から希望が、死から命がもたらされます。神は罪人を釈放して、また彼らを敵から友に造り変えてくださいます。この妥協のない神の審きは十字架の苦難の愛に啓示されています。

ハバクク書1：13

イザヤ書59：15

ヘブライ人への手紙9：22
ローマの信徒への手紙5：8～10
歴代誌上16：33

問い 82 あなたに傷を与えた人への赦しは、彼らの悔い改めに基づきますか。
答え いいえ。わたしが赦されたように赦すべきでしょう。福音は、わたしたちはまだ罪人であった時、キリストはわたしたちのために死んでくださったという驚くべき良きおとずれです。神のわたしへの赦しは、わたしの罪の告白と懺悔に先立ち、そのことにおいて、神の赦しが無条件であるのと同じように、わたしを傷つけた人への赦しは彼らの罪の告白と懺悔に基づいていません。しかし、わたしは、憤りや復讐の欲望を捨てて、わたしを傷つけた人を赦す時、その害を大目に見たり、その罪の悪を免除したりするわけではありません。

コロサイの信徒への手紙3：13
マルコによる福音書11：25
コロサイの信徒への手紙2：13
マタイによる福音書18：21～22
ヘブライ人への手紙12：14

問い 83 あなたを傷つけた人をどのようにして赦すことができますか。
答え わたしは、上からの恵み無しでは、わたしの敵を愛せませんし、わたしを迫害する者のために祈れませんし、わたしを傷つけた人を赦す覚悟さえもできていません。神のみ言や聖霊の力から離れては、神の御子のかたちには造り変えられません。しかし、わたしを強めてくださるキリストのおかげでわたしにはすべてが可能であると約束されています。

ルカによる福音書6：27～28
ヤコブの手紙1：17
ローマの信徒への手紙8：29
フィリピの信徒への手紙4：13

問い 84 あなたが「身体のよみがへり」という時、何を意味していますか。
答え キリストが生きておられる故に、わたしたちもまた生きることになるのです。身体のよみがへりは、一人一人に他者とは区別される独自のアイデンティティーを持った生きた人格として、神にとってのわたしたちの永遠の価値を祝います。実は、わたしたちの先を行かれる生きている救い主ご自身は、その空虚な墓が発見された後、一度確かに弟子たちに聴かれ、見られ、また触れられました。わたしは、生きていても死んでいても、魂においてだけでなく、体と魂の一致において、わたしの真実な救い主イエス・キリストのものですから、身体のよみがへりは、全人格にとって希望を意味しています。

ヨハネによる福音書14：19
ヨハネによる福音書11：25
ローマの信徒への手紙6：5
コリントの信徒への手紙一15：21
コリントの信徒への手紙一15：42
コロサイの信徒への手紙1：18

問い 85 復活の希望はどのような性質のものですか。
答え 復活の希望は、この世からの脱出の希望ではなく、世の変容に対する希望です。それは、あらゆる形の悪が完全に根絶され、過去の歴史が贖われ、また今までのすべての物事が新たにされる希望です。それは新しい創造、神は真に神として崇められ、人間は真に愛に生き、そして地において平和と正義が支配する新しい天と新しい地の希望です。

イザヤ書11：6

ヨハネの黙示録21：1
イザヤ書65：17
ペトロの手紙二3：13
コリントの信徒への手紙二5：17

問い 86 復活の希望は、わたしたちがこの世界の苦しみを軽減するための行動をしなくてもよいということの意味しますか。

答え いいえ。その偉大な希望が生きている時、現在の苦しみを緩和するために小さな希望が今でも湧き出てくるのです。神との、お互いとの、また自分自身との和解は、神が世界に授けてくださっている偉大な希望です。わたしたちは祈りにおいて全世界の必要性を神に委託しながら、わたしたちは神の平和の道具として派遣されていることを知っています。敵意や不義や苦しみが克服された時、わたしたちは万物の終わり、つまり復活の希望が意味する「神が死からもたらす命」ということを予見します。

詩編27：13
詩編33：20～22
ローマの信徒への手紙14：19
申命記30：19
ルカによる福音書1：78～79

問い 87 あなたが「永遠の命」という時、何を認めていますか。

答え 神がわたしたち人間なしで神であることを欲しないで、むしろ墮落した死ぬべき被造物であるわたしたちに永遠の命を授けてくださるということです。イエス・キリストとの交わりは、永遠の命そのものです。わたしたちは天地創造の前に、キリストにおいて選ばれました。キリストによってイスラエルとの永遠の契約は、取り上げられ、体現され、そして成就されました。聖霊により信仰を通して、わたしたちはキリストへと結ばれ、そして神の子として養子（息子と娘）とされました。キリストを通してわたしたちは、死から新しい命へとよみがえさせられています。キリストのためにわたしたちは、永遠に生きるでしょう。

ヨハネによる福音書3：16
ヨハネによる福音書6：54
ヨハネによる福音書17：3
ローマの信徒への手紙6：22
ローマの信徒への手紙6：23
ヨハネの手紙一2：25
マタイによる福音書25：34

問い 88 天国という所は、退屈な所ではないでしょうか。

答え いいえ。天国は、愛の世界であるわたしたちの本当の故郷です。そこでは聖霊は完全な愛においてあらゆる心に注がれます。そこでは、父と子は聖霊の愛の絆において結び合わされています。そこではわたしたちは三位一体なる神と、そして人間同士とも結び合わされていきます。そこでは、今、遠くにある鏡を通してほんやりとだけ見えるものが、やがて顔と顔を合わせて見ることとなります。この人生にある一番深くて真実な楽しみは、天国でわたしたちを迎える喜びのほんのかすかな前兆に過ぎません。「あなたはわたしに命の道を教えてください。わたしは御顔を仰いで満ち足り、喜び祝い右の御手から永遠の喜びをいただきます」（詩編16：11）。

ヨハネによる福音書14：2～3
マタイによる福音書6：20
マタイによる福音書8：11
コロサイの信徒への手紙1：5
コリントの信徒への手紙一13：12

Ⅱ 十 戒

問い 89 十戒とは何ですか。

答え 十戒はわたしたちの人生のための神の律法の要約です。それはわたしたちに神とまた隣り人との正しい生き方を教えています。

申命記10：4

マタイによる福音書19：17

問い 90 なぜ神はこの律法を授けてくださったのですか。

答え イスラエルの民をエジプトでの奴隷生活から解放された後、神は、彼らがモーセを通して律法を受けた場所であるシナイ山へと導いてくださいました。その律法は神との契約において生きるように、そして諸国の光として仕えるように選ばれたイスラエルのための偉大な自由の憲章でありました。それは、今日主を愛し、主を知り、そして主に仕えようとするすべての人たちの自由の憲章であり続けています。

出エジプト記20：2

申命記11：1

ルカによる福音書1：74～75

問い 91 あなたはなぜこの律法に従うべきなのですか。

答え 神の愛を勝ち取るためではありません。神が既にわたしを愛してくださっているからです。自分の救いを得るためではありません。キリストが既にわたしの救いを獲得してくださっているからです。恐怖のために従うのではなく、それでいて、罰することを逃れるためでもありません。そうではなくて、わたしは感謝して心に喜びを持って、神の律法に従います。神がその律法によってわたしを祝福し、わたしの幸いのために律法を与えてくださったからです。

詩編118：1

コロサイの信徒への手紙3：17

問い 92 神の律法の用法は何ですか。

答え 神の律法には3つの用法があります。第一に、神の律法は、わたしがどれほど悲惨に神のみこころに適った道から外れているかを示しています。第二に、罰を恐れさせることによって、たとえ最も酷い罪人でさえ抑止されるように機能しています。第三に、わたしに福音を証しする生き方を教えて、またそのような生き方を促します。

ローマの信徒への手紙3：20

ローマの信徒への手紙7：7

箴言6：23

問い 93 第一戒は何ですか。

答え あなたはわたしをおいて他に神があってはならない（出エジプト20：3、申命5：7）。

申命記26：17

マタイによる福音書4：10

問い 94 あなたはこの戒めから何を学びますか。

答え 神への忠実の前に、他のどんな忠実もありません。わたしはただ神のみを礼拝し仕え、神のみからすべての善を期待し、そしてわたしの心を尽くして、神を愛し、畏れ、賛えるべきです。これらのことを学びます。

マタイによる福音書6：24

申命記6：5

箴言9：10

マタイによる福音書10：37

問い 95 第二戒は何ですか。

答え あなたは刻んだ像を造ってはならない（出エジプト20：4，申命5：8）。

問い 96 あなたはこの戒めから何を学びますか。

答え 第一に、神以外の他のものを神として扱うならば、わたしは偶像崇拜をしていることになります。次に、わたし自身の関心がどんなものよりも大事であるとするならば、わたしはそのものを偶像にして、結局自分自身を偶像化してしまうのだということです。

申命記6：14

ヨハネの手紙一5：21

出エジプト記34：14

歴代誌上16：26

ローマの信徒への手紙1：22～23

フィリピの信徒への手紙2：4

問い 97 第三戒は何ですか。

答え あなたはあなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない（出エジプト20：7，申命5：11）。

問い 98 あなたはこの戒めから何を学びますか。

答え わたしは尊敬と畏敬をもって神の名を使うべきだということです。神の名をもって不義を助長する時に、神の名はみだりに唱えられています。呪いや敬虔を装った常套句のように不注意に使われた時、神の名は侮辱されています。

詩編29：2

ヨハネの黙示録15：3～4

詩編138：2

エフェソの信徒への手紙4：29

詩編103：1～2

問い 99 第四戒は何ですか。

答え 安息日を覚え、これを聖とせよ（出エジプト20：8，申命5：12）。

問い 100 あなたはこの戒めから何を学びますか。

答え 礼拝がわたしの人生の中心になるために、神は特別な日を聖別するように要求しておられるということです。感謝と賛美をもって、神のみ言をわたしの心の中に、唇に、またわたしの人生においてそれを実行するために聴いて受け入れて、神を誉めたたえることは正しいことです。

ローマの信徒への手紙10：8

申命記5：12

創世記2：3

レビ記23：3

使徒言行録2：42

使徒言行録2：46

問い 101 なぜ一週間のうちの一日が休息の日として設定されたのですか。

答え 第一に、労働者はその雇用主に利用されるべきではありません（申命5：14）。わたしの人生は仕事以上のものですから、仕事はわたしの暴君になってはならないのです。次に、神はわたしに、一人きりだけではなく、他の人たち、少なくとも家族の者と、一定の聖書の学びと祈りのために

時間を定めるように要求しておられるのです。

申命記5：14

出エジプト記31：17

問い 102 なぜわたしたちキリスト者は、いつも週の第一日目に集まるのですか。

答え 週の第一日目にともに礼拝することで、キリストがわたしたちにもたらしてくださった新しい命がわたしたちの全存在を満たし始めるようにと、わたしたちはわたしたちの主の復活を祝います。

マルコによる福音書16：2

使徒言行録20：7

使徒言行録4：33

問い 103 前半の四戒の最も適切な要約は何ですか。

答え これらの戒めは、わたしに神とともにどのように正しく生きるかを教えています。主イエスは、最も重要な第一の戒めを語って、十戒の前半の四戒を次のようにまとめてくださいました。「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい」(マタイ22：37, 申命6：5)。

問い 104 第五戒は何ですか。

答え あなたの父母を敬え (出エジプト20：12, 申命5：16)。

問い 105 あなたはこの戒めから何を学びますか。

答え わたしは神のみを崇めるが、しかし自分の両親、すなわち父と母の両方に対しては、心からの尊敬の念を払うべきだということです。両親への聴従、両親から受ける恩恵への感謝、そして特に老年になって両親の必要への配慮、これらのことを神はわたしに対して願っておられます。

エフェソの信徒への手紙5：21

ローマの信徒への手紙12：10

エフェソの信徒への手紙6：2

箴言1：8

レビ記19：32

ルカによる福音書2：51

問い 106 あなたの両親に従う義務には、限界がありますか。

答え はい。単なる人間は誰であっても神ではありません。すべての事柄が神への忠誠と服従という規準で見分けられるべきですから、愚かな服従は要求されていません。わたしは従わない方がよいと見える時、絶えず自分の起こりうる自己欺満の可能性に注意を払うべきですし、わたしたちは皆、神のみこころの真実のうちに歩むようにと祈るべきです。

ペトロの手紙一2：17

使徒言行録5：29

問い 107 第六戒は何ですか。

答え あなたは殺してはならない (出エジプト20：13, 申命5：17)。

問い 108 あなたはこの戒めから何を学びますか。

答え 神はわたしの隣人を不当に傷つけるどんなことでも禁じておられるということです。殺人と傷害は直接の暴力を通してのみではなく、怒りの言葉、陰謀、しかも個人的な次元においてだけではなく、不正な社会制度を通しても行われることがあります。わたしは、わたしの敵をも含む、すべての人は神のかたちとして造られた人格として尊敬すべきです。

ヨハネの手紙一3：15

箴言24：17

ローマの信徒への手紙12：19～20

コロサイの信徒への手紙3：12～13

マタイによる福音書5：21～22

マタイによる福音書26：52

問い 109 第七戒は何ですか。

答え あなたは姦淫してはならない（出エジプト20：14，申命5：18）。

問い 110 あなたはこの戒めから何を学びますか。

答え 神は、性関係において節操と純潔を要求しておられるということです。愛は神の偉大な賜物ですから、わたしがそれを腐敗させないように、または一時的な欲望と自分の快樂の自己中心的な自己実現と混乱しないように、神は期待しておられます。神は、結婚生活と独身生活におけるすべての性的乱れを禁じておられます。

エフェソの信徒への手紙5：3

マタイによる福音書5：27～29

ヘブライ人への手紙13：4

テサロニケの信徒への手紙一4：3～4

問い 111 第八戒は何ですか。

答え あなたは盗んではならない（出エジプト20：15，申命5：19）。

問い 112 あなたはこの戒めから何を学びますか。

答え 神は、たくらみ、詐欺、または不正に他の人の物を奪うことを含めて、すべての盗みと強盗を禁じておられるということです。神は、わたしが貪欲によって支配されないことや与えられた賜物を悪用したり、無駄遣いをしないこと、そして神がわたしの必要を満たしてくださるという約束を疑わないことを要求しておられます。

ヨブ記20：19～20

エレミヤ書22：13

箴言18：9

テモテへの手紙一6：9～10

ヨハネの手紙一3：17

ルカによる福音書12：15

フィリピの信徒への手紙4：19

問い 113 第九戒は何ですか。

答え あなたはあなたの隣人について偽証してはならない（出エジプト20：16，申命5：20）。

問い 114 あなたはこの戒めから何を学びますか。

答え 神はわたしがわたしの隣人の名誉と名声を汚すことを禁じておられるということです。わたしは、金銭、利益、友情または復讐か他の理由のために誰に対しても偽証をしてはなりません。神は、わたしに真実を語り、出来る限りに隣人を誉め、それが出来ない時には隣人の欠点を寛容に見ることを要求しておられます。

ゼカリヤ書8：16～17

ペトロの手紙一3：15～16

箴言14：5

ヤコブの手紙4：11

ペトロの手紙一4：8

- 問い 115 この戒めは人種差別や他の否定的な固定観念を禁じていますか。
- 答え はい、わたしの隣人に対して偽証を禁じていることによって神は、傷を受けやすく、違いのある、または排斥されているどんな社会的集団に対しても偏見を持つことを禁じておられます。ユダヤ人、女性、同性愛者、人種や民族の少数派、そして国家の敵という人たちは、社会的差別の侮辱にさらされることによってひどく苦しんできました。否定的な固定観念で人々を見ることは、第六戒（殺人の禁止）で禁じられている屈辱、虐待、暴力を引き起こす偽証の一つです。
- ローマの信徒への手紙3：13
ローマの信徒への手紙3：15
箴言31：8～9
マタイによる福音書7：1～2
- 問い 116 第十戒は何ですか。
- 答え あなたはあなたの隣人のものを欲してはならない（出エジプト20：17、申命5：21）。
- 問い 117 あなたはこの戒めから何を学びますか。
- 答え わたしの心は、お金やこの世のものではなくて、神のみに属すべきだということです。「むさぼる」ということは、誤って何かを欲するというを意味します。わたしはわたしの隣人の幸運または成功を恨むべきではないし、わたしの心を妬みで汚すべきではありません。
- ヘブライ人への手紙13：5
ガラテヤの信徒への手紙5：26
- 問い 118 後半の六戒の最も適切な要約は何ですか。
- 答え これらの戒めは、どのように隣人とともに正しく生きるかをわたしに教えています。主イエスは、最も重要な第二の戒めを語って、十戒の後半の六戒を次のようにまとめてくださいました。「隣人を自分のように愛しなさい」（マタイ22：39、レビ19：18）。
- 問い 119 あなたは、完全にこれらの戒めに従えますか。
- 答え いいえ。わたしは同時に〈赦された〉罪人でありながら、赦された〈罪人〉です。弁解の余地のない罪人としてわたしは、神が要求しておられる戒めに従えません。「律法全体を守ったとしても、一つの点でおちどがあるなら、すべての点について有罪となるからです」（ヤコブ2：10）。わたしは律法の方をわたしの失敗に合わせるべきではないし、神の御前で自分の失敗を軽視すべきでもありません。しかし、わたしのうちにある罪よりも、神の恵みの方が大きいのです。神に憐れみをくださるよう祈り続けなければならないと同時に、わたしは神が豊かに赦してくださること、わたしがわたしのすべての罪から解放されるということ、これらのことに対して確信を持つことができます。恵みによって、わたしはわたしの罪を告白し、そのすべての罪を悔い改め、そして日々、愛と知識のうちに成長することができます。
- 詩編14：3
エフェソの信徒への手紙2：8
詩編130：3～4
コロサイの信徒への手紙1：13～14
ヨハネの手紙一1：8

Ⅲ 主の祈り

問い 120 祈りとは何ですか。

答え 祈りとは、いつもわたしたちとともに聖霊としてくださる神に呼び求めることを意味します。祈りにおいてわたしたちは、尊敬、確信と謙遜をもって神に近づいていきます。祈りは、賛美、告白、感謝、祈願を持って神に応答していることやわたしたちの心の中で神の言葉を聞き分けることを含みます。神を崇める時、神の天上の栄光の前で、特にゴルゴタの十字架においてその栄光が隠されている時に、わたしたちは驚異、愛と賛美に満たされます。わたしたちの罪を神に告白する時、神は恵み深く、同時に聖なるお方であられることを覚えながら、わたしたちは謙虚に痛む心をもって、赦しを求めます。神に感謝している時、わたしたちは神の偉大な善さを認め、わたしたちのために素晴らしい備えをしてくださっていることを神において喜びます。最後に、わたしたちの願い事を聴いてくださるようと神に呼び求める時、神がすべての必要や人生の悲しみにおいて近づいてくださることをわたしたちは認めて、また再び神に求め続けていくのです。

詩編48：2

詩編96：8～9

ヤコブの手紙5：16

ヨハネの手紙一1：9

詩編107：8

詩編75：2

詩編50：15

詩編145：18

エフェソの信徒への手紙6：18

問い 121 祈りの目的は何ですか。

答え 祈りはわたしたちを、神との交わりへともたらしめます。わたしたちの人生が祈りに根差したものになればなるほど、神がその恵み、清さ、尊厳と愛において如何に素晴らしいかを気づかされます。祈りとは、わたしたちが自分の人生のすべてを神に献げ、神のみこころに服従させ、信賴して神の恵みを待つということを意味します。祈りを通して神は、わたしたちを不安から自由にし、奉仕のために備えをなし、わたしたちの信仰を深めてくださいます。

詩編62：9

詩編139：1

フィリピの信徒への手紙4：6

マタイによる福音書7：7～8

問い 122 神はどのようにして、わたしたちの祈りに答えてくださるのでしょうか。

答え 神は、神の知恵をもってわたしたちの祈りをはかり、完全な意志によってそれに答え、わたしたちのすべての祈りを考慮に入れてくださいます。しばらくの間は、神の答えがわたしたちの理解を超えている、あるいは厳しいもののように見えますが、わたしたちは、神の答えがいつも主イエス・キリストの恵みによって定められていることを知っています。神は、特にこの世の祝福を願うわたしたちの祈りに対して、神の栄光とわたしたちの救いという、より大きな目的に沿った方法においてのみ答えてくださいます。最終的には、神との交わりが、わたしたちのすべての祈りに対する答えの中の答えです。

ヨハネの手紙一5：14

ヤコブの手紙1：17

マタイによる福音書6：33

問い 123 何がわたしたちを日々祈りへと励ましますか。

答え ご自身の子どもとしてわたしたちを養子にくださった神は、わたしたちを祈るようにと励ま

し、命じてくださる神です。わたしたちは祈る時、上よりのはるかに大きな愛に応えるのです。わたしたちが祈る前に神は、わたしたちのすべての必要に答える用意があります。わたしたちは、自分たちがふさわしいからではなくて、神の恵みの故に確信をもって日々神に帰ることができるのです。祈ることによって、すべての良いこと、麗しいこと、生かすこと、真実なことについて、わたしたちはそれらすべてが恵みによっていることを認めます。

イザヤ書65：24

ルカによる福音書11：12～13

フィリピの信徒への手紙4：8

エフェソの信徒への手紙3：20～21

問い 124 どんな祈りが、わたしたちの祈りの規準と規範となっていますか。

答え わたしたちの祈りの規準と規範は、主イエスが弟子たちに教えた「主の祈り」にあります。

天にまします我らの父よ、
願わくはみ名をあげさせたまえ。
み国を来たせたまえ。
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を今日も与えたまえ。
我らに罪を犯す者を、我らが赦すごとく、
我らの罪をも赦したまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは、
限りなくなんじのものなればなり。

アーメン

これらの言葉は、わたしたちが神に願うこと、そして期待出来ることすべてを表現しています。

問い 125 主の祈りの構造はどのようになっていますか。

答え 主の祈りは、呼びかけに始まり、頌栄という賛美の言葉で締めくくられ、また、本文は二つの部分に分けられます。それぞれに三つの嘆願があります。前半は神の栄光、後半はわたしたちの救いに関するものです。前半はわたしたちの神への愛に関するもので、後半は神のわたしたちへの愛に関するものです。前半の嘆願は来るべき世まで完全には成就されませんが、後半の嘆願はより直接的にわたしたちの現在の必要に関係します。

問い 126 「天にまします我らの父よ」と呼びかける意味は何ですか。

答え 「我らの父」と呼びかけることによって、子どもらしい尊敬を持って近づき、そしてわたしたち自身を確実に神の御手に委ねます。確かに神は何処にでもおられますが、神は「天に」存在し、住まわれると記されています。神は自由に被造物と最も親しい関係に入ることができると同時に、神は被造物の領域に属しておられません。「天」というのは、神が栄光のうちに支配し、地に救いをもたらす神の権威の座のことです。わたしたちの祈りの最初の呼びかけは、わたしたちが安心して神の親しい配慮の中に憩うこと、また地上において神の恵みが及ばないところは一つもない、という確信を表現しています。

ローマの信徒への手紙8：15

エレミヤ書23：23～24

使徒言行録17：24

問い 127 「願わくはみ名をあげさせたまえ」という第一の嘆願の意味は何ですか。

答え 最初の嘆願は、主の祈り全体の目標と目的を含むので、はじめに置かれています。神の御名の栄光は、わたしたちが祈り、行っているすべてのことにおける最大の関心です。神の御名は、神の

存在と同時に神の性質と業をも表します。わたしたちは、この御名が「あがめられますように」と祈る時、神がすべての人々に神として知られ、あがめられるように、またはすべてのものが真に神のために仕え、そして整えられるようにと祈っています。

エレミヤ書9：22～23

ローマの信徒への手紙11：36

詩編115：1

問い 128 「み国を来たらせたまえ」という第二の嘆願の意味は何ですか。

答え わたしたちは、神が、信仰と愛と義を通して、この三つが一つも欠けることなしに、わたしたちの間に来られ支配するように願うのです。わたしたちは、神が信仰を通してわたしたちの心を、愛を通してわたしたちの人間関係を、義を通してわたしたちのこの世におけるあらゆる制度を支配するようにと、教会と世界両方のために祈ります。わたしたちは特に、福音が阻止されないで、むしろ正しく宣べ伝えられ、そして受け取られるようにと祈ります。わたしたちは教会が、特に苦難の時に支えられ、また強められるように祈ります。それから、全世界の、涙と痛みが消え去っていき、そして永遠に完全な平安のうちにおいて神とともに生きるその日まで、ますます神の支配に服従するようにとわたしたちは祈ります。

詩編68：2

テサロニケの信徒への手紙二3：1

ヨハネの黙示録22：20

ローマの信徒への手紙8：22～24

コリントの信徒への手紙一15：20

コリントの信徒への手紙一15：28

問い 129 「みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ」という第三の嘆願の意味は何ですか。

答え 神のみこころは、わたしたちがそれを願うかどうかに関係なく、もちろん常に行われているし、これからも行われていくに違いありません。しかし、「天になるごとく、地にも」という一節では、わたしたちが地において、天にあると同じ方法で神のみこころを行うための恵みを心から喜んで願うのです。従って、わたしたちはとりわけ、わたしたち自身の心にある神のみこころに逆らうすべてが取り除かれるように祈ります。わたしたちの願いと行為がよりよく神の願いと行為に一致するための自由と、わたしたちの罪からの完全な解放のために、わたしたちは願います。わたしたちは、生においても死においても、神のみこころにわたしたち自身を委ね続けるのです。

詩編119：34～36

詩編103：20

詩編103：22

ルカによる福音書22：42

ローマの信徒への手紙12：2

問い 130 「我らの日用の糧を今日も与えたまえ」という第四の嘆願の意味は何ですか。

答え わたしたちは、神がわたしたちの人生の全体を配慮し、また日常的、霊的な祝福を約束してくださっていることを知っているのです。わたしたちのすべての必要を備えてくださるよう神に願います。神は、わたしたちの日々必要なだけ、つまりわたしたちが完全に神に頼ることを学ぶようにと、祈ることを命じられます。わたしたちは、特に貧しい人、困っている人を覚えながら、与えられた物を賢く使えるようにと祈ります。他のすべての被造物とともに、神の善いみ旨に従った形で、わたしたちが祝福され、養われるようにと、すべての寛大さの源である神に期待し、求めます。

箴言30：8

詩編90：17

詩編55：23

詩編72：4

詩編104：27～28

問い 131 「我らに罪を犯す者を、我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ」という第五の嘆願の意味は何ですか。

答え わたしたちは、わたしたちのうちに新しく確かな霊が授けられるようにと祈るのです。わたしたちは、特にわたしたちに傷を与える者たちとの関係において、わたしたちが神からいただいた同じ憐れみをもって、彼らと関わるようにと神に願うのです。わたしたちは、自分自身の罪の赦しを求めて、へりくだって神に向かう必要のない日は一日としてないことを心に覚えています。もしわたしたちが他の人々を赦そうとしないならば、この赦しを受けることができないことを、わたしたちは知っています。わたしたちは、悪を行うことを喜ばないで、またどんな不正に対しても復讐しようとしないうように、むしろわたしたちの心が神の憐れみと赦しに結び合わせられていることにおいて、恨みのない心ですべての残酷を耐えるように、そして善をもって悪に勝つように神に願うのです。

マタイによる福音書18：33

マタイによる福音書6：14～15

詩編51：12

ヨハネの手紙一2：1～2

問い 132 「我らをこころみにあわせず、悪より救い出したまえ」という最後の嘆願の意味は何ですか。

答え わたしたちは、わたしたち自身の最も悪い衝動から、または世界のすべての外的な破滅力から守られますようにと神に願うのです。わたしたちは、見たところ希望のない状況に直面させられても、絶望に負けないようにと願うのです。わたしたちは、わたしたちの不信仰にもかかわらず、また世界がどれほど暗く見えても、わたしたちの絶望よりも深い愛があるということを感じ、また信じている恵みを受けるように神に願います。その愛は、イスラエルをエジプトの奴隷の家から解放し、またわたしたちの主イエスを死からよみがえらせた愛であり、今その愛を破るかのように見えるすべてのものを飲み込む愛でもあります。

コリントの信徒への手紙二4：8

エフェソの信徒への手紙3：19

マタイによる福音書26：41

問い 133 「国とちからと栄えとは、限りなくなんじのものなればなり」という終わりの頌栄の意味は何ですか。

答え わたしたちは、すべての敵よりも力強いみ国のため、愛の弱さにおいて完成されている力のため、また今も永遠に至るまでも、わたしたちや創造全体の幸福を含む栄光のために神に感謝し、賛美するのです。わたしたちは、わたしたちの主キリストを通して知らされる神に感謝し、賛美します。

ヨハネの黙示録5：12

ヨハネの黙示録4：11

歴代誌上29：11

歴代誌上29：13

問い 134 「アーメン」という言葉の意味は何ですか。

答え 「アーメン」の意味は「その通り」または「そのようになるように」ということです。そしてそれは三位一体の神への完全な信頼を表します。神は必ず約束を守るお方であり、また神の愛は永遠に続くのです。「アーメン」という言葉は、わたしたちの神に対する完全な信頼を表します。神は、わたしたちの主イエス・キリストを通して成就されたイスラエルとの契約の神であり、その変わらない愛と永遠に続く憐れみに満ちた神であられます。

ヨハネの黙示録22：20

コリントの信徒への手紙二1：20

テモテへの手紙二2：13